

職位/Position 教員氏名/ Name	教授 亀山 浩文	オフィスアワー/Office hours 火曜日 昼休み 金曜日 昼休み	研究室/Office number 1号棟3階研究室（紀尾井町） F317（東金）
教員の所属学会並びに社会活動・課外活動顧問など/Affiliated Academic Society & Social Activity 日本物理学会、情報処理学会、独立行政法人 情報処理推進機構 試験委員			
ゼミ名/Seminar 「コンピュータシミュレーションの理論と応用」 または「IoT, AI, ビッグデータ、仮想通貨などICTの進展による第4次産業革命と生活様式の変化」			
2年次までに修得していることが望ましい科目/ Preferable courses should be taken before the end of second-year studies 情報メディア論、コンピュータ基礎論・応用論			
研究指導内容とその進め方/Teaching system and content I. 初年度（3年次）/First year(third-year students) 前者をテーマとする場合は、目的に応じたプログラム言語を学ぶことになる。スマホやタブレットのアプリとしてソフトウェア開発を行うことを目指す場合は、その基礎的事項を学ぶ。 後者をテーマとする場合は、第4次産業革命のキーテクノロジーについて基礎的知識を得るため、一定数の本・雑誌などの活字資料を読み、且つ映画やテレビのドキュメンタリーなどの映像資料を視聴することになる。 両者が融合したテーマを設定してもよい。具体的な内容は、ゼミに参加する学生諸君と議論しつつ、決定していくことになる。 選択したテーマによっては、学外施設の利用・見学を行う場合もある。二つのテーマ共に東京の都市としての情報環境を最大限活用する。 また、国家試験ITパスポート又は基本情報技術者試験の合格を目指して、各自の努力を期待する。			
II. 次年度（4年次）/Second year (fourth-year students) ゼミ名で示した内容に沿った具体的なテーマを各自設定し、研究を行う。ゼミ時間外でも積極的に研究を展開することを期待する。定期的に研究経過をゼミ内で発表し、内容を学生相互に検討する。			
III. 卒業論文の指導、その他指導について/Graduation thesis guidance and others 研究した成果は卒業論文としてまとめる。最終的にはプリントアウトして製本するが、マルチメディア情報を活用してweb形式でもまとめたい。従って、HTMLやXMLなどのwebページを作成するマークアップ言語についても同時に学ぶことになる。アプリなどのソフトウェア開発を行う場合はcodeそのものが成果物の一部となる。コピーは厳禁。			
教科書、参考書などについて/Textbooks, reference books テーマにより教科書・参考書は異なる。ここでは選択テーマに依らず有益な図書を提示する。 ・トーマス・クーン著、中山 茂 訳、「科学革命の構造」、みすず書房、1971年 ・フリードリヒ・A. キットラー 著、石光 泰夫 訳、「グラモフォン・フィルム・タイプライター」、筑摩書房、1999年（文庫本版あり）			
ゼミライフ：(合宿、ゼミ会等)/Seminar activities(meetings, training camps) ゼミ参加者の希望があれば、学生諸君の自主的な企画のもとに実施する。ゼミ合宿を企画する場合は、可能な限りゼミのテーマに関係する場所・施設を選びたい。			
ゼミ生に対する要望・注意等/Requests, comments 積極的に学ぶ姿勢を期待する。大学での学びの集大成となるようなゼミとしたい。遅刻欠席をせず、ゼミに参加すること。また、 3年次科目「モデル化とシミュレーション」を必ず履修 すること。			